



羅針盤 R2 (2020) 年度-No.15

令和 2年4月1日 (水)
昭島市立拝島第二小学校
校長 小瀬 和彦

「一期一会」、「自分自身・家族の健康第一」
「チームビルディング拝島二小」

※ 羅針盤は校長通信です。先生方に「説明の時間がとれない時」、「これだけは、伝えたい!」、
「徹底していただきたい!」、「大切にしていきたい!」という時に、発行するものです。

さあ! 令和2年度のスタートです! よろしくお祈りします。
One for all. All for one. チーム拝島二小で前進して参りましょう!

「一期一会」(一生に一度だけの機会)を大切に!

東京都の小学校は約1400校あります。教職員に至っては、約35,000人もいます。その中で、私たちが出会えたことは、奇跡であり、ひとつの縁ではないでしょうか。私は皆さんとの、この奇跡的な出会いを、「一期一会」と捉えてほしいと思っています。「一期一会」の語源は「どの茶会でもその機会は二度と繰り返されることがなく、生涯に一度しかない出会いである」と心得て、主客ともに誠意を尽くすべきである」という心構えを説いた言葉です。それが「一生に一度だけの機会」そのものを指す言葉として用いられるようになりました。共に、教職員との出会いを、子供たちとの出会いを、「一生に一度だけの機会」、「一期一会」として捉え、共に誠意をもって尽くしてまいりましょう。

自分と家族の健康を第一優先で! 明るく、爽やかな風になってください!

教職員の皆さんには、何と言っても、自分自身の健康、家族の健康を第一に考えてほしいです。子供たちは、教職員の皆さんの姿をみて育ちます。姿というものは怖いもので、そのときの気分・感情・思いなどの精神状況が意識的にせよ、無意識的にせよ、如実にあらわれてしまいます。子供たちは、その状況を瞬時に察知し、影響を受けます。ですから、皆さんが「明るく、爽やかな風」になって子供たちを取り巻くためには、皆さん自身や家族の健康が必要不可欠です。健康であってこそ、「明るく爽やかな風」になることができるのです。もし健康等への憂いが少しでもあれば、遠慮なく申し出てください。皆さんには、子供たちにとって「明るく、爽やかな風」であってほしいと思います。

チームビルディング拝島二小の創造!

共に、チーム拝二小を創っていきましょう(チームビルディング)。「自らの人生(運命)を自らの力で切り拓き、これからの社会の創造を担う人材を育成する【昭島市民科】(共通の目的)のために、「学校は失敗するところ! 教室は間違えるところ! 授業は子供が主人公!」(教師のスタンス)をキーワードに、「子供の成長を教育活動の、ど真ん中に!」(判断基準)において、カリキュラム・マネジメント(方法)により、「未来志向の学校」(学校像)を創造していきましょう。拝島二小での出会いを、縁を大切に、皆さんの英知を結集して、新たな「チーム拝島二小」を築いていきましょう!